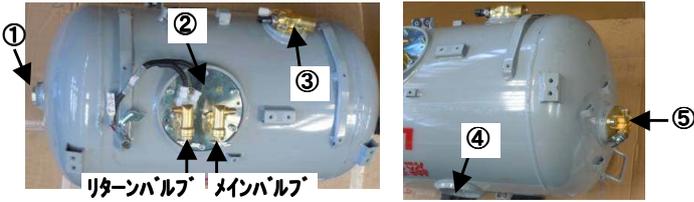
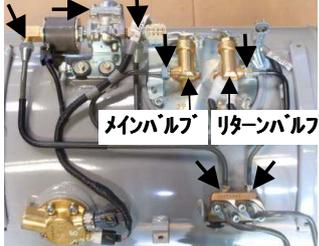


容器本体 気密確認作業

(タンク写真:WME)

作業手順	作業補助図
<p>1</p> <p>(1)①ドレンプラグ、②ポンプASSY ③フューエルガステンバアラチャセンサ(安全弁) ④フューエルセンタゲージ ⑤フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブ が容器に確実に取り付けられている事を確認する。 (2)メインバルブ、リターンバルブが閉じている事を確認する。</p>	
<p>2</p> <p>(1)容器を反転し、ポンプ取付け面を下へ向ける。 (2)加圧用ホースをフューエルタンクオーバーフィルチェックバルブに接続してバルブを開く。 (3)加圧ホースから圧力を徐々に加える。 (加圧力:0.06MPa) (4)メインバルブ取り付け部の気密確認を行う。</p> <p>注1:ポンプ取付け面が上方を向いてるとフューエルタンクオーバーフィルチェックバルブが作動し加圧出来ない恐れがあります。</p>	  <p>注2: 容器を反転させる際は、容器本体及び部品への傷付きに注意すること。</p>
<p>3</p> <p>(1)更に圧力を徐々に加える。 (加圧力:2.28MPa) (2)容器本体、付属品取り付け部及びメインバルブ取り付け部の気密確認を行う。</p> <p>注: 指定圧力以上の加圧は行わないで下さい。部品が破損する恐れがあります。</p>	 <p>※矢印は付属品取り付け部を示す</p> <p>注1: ハーネス(ナット)は外さずにポンプフランジのハーネス結線部の気密を確認すること(樹脂キャップは外すこと) 注2: 気密試験後に樹脂キャップを写真のように取り付けること ・結線部の端子同士を接触させないこと ・ねじトルク 4N・m ナットの緩み、端子接触により、結線部が発熱しガス漏れを起こす恐れがあります</p> 

配管接続部 気密確認作業

作業手順	作業補助図
<p>4</p> <p>【ポンプ取付手順】に従い取り付けが完了してからの作業を示す (3の続き・タンク内圧が加わった状態) アダプタにホース配管を取り付け、ソケットヘキサゴンレンチ(6mm)を用いて、ボルト4本でアダプタへ取り付ける。 T=9.0N・m</p>	 <p>WKM用 メインホース配管: 17550 VT40A リターンホース配管: 17551 VT40A } 別途入手下さい</p> <p>WME用 メインホース配管: 77260-43010 リターンホース配管: 77250-43010 } 別途入手下さい</p>
<p>5</p> <p>(1)メインバルブ、リターンバルブが閉じていることを確認する。 (2)ホース配管側から徐々に加圧する。 (加圧力:3.9MPa) (3)配管接続部の気密確認を行う。 (4)加圧力を2.28MPaに変更する。 (5)メインバルブ、リターンバルブを開く。 (6)リターンバルブ取り付け部の気密確認を行う。</p> <p>注1: 指定圧力以上の加圧は行わないで下さい。部品が破損する恐れがあります。 注2: 気密確認の際、ハーネスコネクタを接続してから実施して下さい。 注3: 気密確認後は、付属品及び容器本体に付着した水分を確実に除去して下さい。腐食や故障をする恐れがあります。</p>	 <p>メイン・リターンホース配管反対側形状 配管先端部ネジ形状(M14xP1.5) ←加圧</p>  <p>リターンバルブ取り付け部の気密確認については 当作業での気密確認を合わせて実施下さい。</p>
<p>6</p> <p>(1)気密確認が終わったら、フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブを開き、タンク内の圧力を除去する。 (2)フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブに除圧用ホースを接続する。 (3)フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブを開き、真空引きを行う。 (真空度:-0.08MPa以上)</p>	 <p>除圧用ホース フューエルタンクオーバーフィルチェックバルブ</p>